

令和2年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園

No.	基本目標	〔業務事業〕 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	〔幼稚園教育の質の向上〕 P D C Aサイクルの確立 全体研修・個人研修の推進 幼小連携の推進	月案・週案を提出し評価をすることでP D C Aサイクルを確立した。個人研修は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの研修が中止となった。Z O O M配信等で開催される研修を取り入れ、個人研修に励んだが、例年に比べ充実した研修が受けられなかった。全体研修については、長期休暇を使って園内にて学びを深めた。小学校の交流については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、行えていない。	計画された保育があると言うことがとても伝わった。小学校交流がないのは年長組にとっては残念なことであるし不安材料にもなるのでコロナ禍でできるようなものを検討するとよいのではないかと。
2		〔園の特色を生かした教育課程の編成〕 学年会議の開催 次年度カリキュラムの決定	毎週1回学年会議を開き、教育課程を元に月案・週案の話し合いをし保育計画を立てた。又、学期毎に教育課程を見直し次年度カリキュラムにつなげるよう準備をした。年度末に一年間を通して学期毎に見直したカリキュラムを次年度のカリキュラムとしてまとめる予定である。	カリキュラムに沿った保育の中でコロナ禍の中行事は減ったが成長した姿が見られた。又、少なくなった行事にも充実感があつた。
3	大学・地域との連携	〔学園設置大学との連携の充実〕 体操教室・リトミックの実施 学生との連携の実施 大学教員とのコラボ研究の実施	コロナウイルス感染症の感染が拡大し、4・5月は正課もできなかったが、満3歳児クラス・年少組は6月より毎週木曜日にリトミック教室を行った。年中・年長組は毎週火曜日・木曜日に体操教室を行った。感染拡大防止の為学生との連携はできなかった。大学教員とのコラボ研究も打診はしたものの大学がリモート授業に切り替わるタイミングで実現しなかった。今後大学教員との交流を深め、コラボ研究について進め研究のテーマを決めていきたい。	体操教室等子ども達の成長過程を考慮して行っているのが幼稚園から帰って来た子どもの話からよくわかった。学生との交流がなかったのは子ども達にとっても残念だったのではないかと。状況が落ち着いたら是非行って欲しい。研究についてもする事によって教育がよくなると思う。
4		〔地域との交流の推進〕 田植え・稲刈りの実施 餅つきの実施 八幡図書館折尾分館との交流 地域内・姉妹園との交流	田植えについてはコロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。地域の方が植えた稲の成長だけ見学に行き、稲刈りの時期に少し落ち着いた状況になった為、また戸外であることで行った。餅つきについては中止とし、その代わりに獅子舞いを見学し、年長組が地域の神社に初詣に行った。今後地域との交流と言うことで神社との交流も深めたい。八幡図書館折尾分館には未就園児教室に向いてもらい未就園児親子との交流をした。姉妹園の交流については今年度中止となった。	コロナ禍の中地域との交流はほぼできなかったのではないかと。今後の状況にもよるが難しさがあると思われるが工夫をし、検討すると良いと思う。稲刈りや餅つき等はいろいろな制限がある中工夫してできることを頑張っていると思う。
5	幼稚園運営の強化	〔園児募集・広報の強化〕 HPでの積極的な情報発信 未就園児教室の充実 預かり保育・子育て相談の実施	HPは例年通りに毎月更新し、園の様子や未就園児教室の様子を積極的に発信したが、コロナウイルス感染症の影響で、休園になったり分散登園になったりした為、園からの発信が足りない状況になったので、新たに幼稚園のインスタグラムを作り、SNSを通して園からの発信に努めた。通常保育に戻った後もリアルタイムで園の様子が届けられる為、保護者の方々の要望もあり閉鎖せずにそのまま使っている。未就園児教室は中止することなく回数を増やして密にならないような環境で行った。内容は、昨年度の反省を活かし充実した。子育て相談については、在園児の保護者についてはその都度要望があった時やこちらからの提案で行って来た。預かり保育は家庭的な雰囲気を出しながら子ども達が楽しめる保育を計画的に行った。	インスタグラムを開設したことによって休園・分散登園中に子ども達が自宅で楽しむこともできたし、リアルタイムで園での様子を知ることができてとてもよかったので続けて欲しい。不安な中に新しい発見があった。未就園児教室も中止にせず行ったことで園児獲得につながったのではないかと。
6		〔安全対策の徹底〕 運転員の研修の実施 園児の交通安全教室の実施 戸外活動・災害時の安全対策 遊具の点検・建物の点検 職員に対する危機管理の研修	園児の火災や地震を想定した避難訓練や、防犯訓練・交通安全教室等を計画的に行った。年長組は、ドライビングスクールでの交通安全教室を行った。小さい組については、防犯訓練の後に交通安全についての話しをしてもらい、横断歩道の渡り方など実践を交え行った。戸外活動では、活動毎に人数確認をするなど徹底して行った。建物の点検は、管財を通して各業者に点検を頼んだ。遊具は新しいものもあるためマニュアルを作り直して毎月の点検を徹底するようにしたい。	これからも各安全対策の徹底に努め、コロナウイルス感染症対策を講じて保育活動を工夫して欲しい。今年度も消毒等徹底している姿が見られる。